

くにたちのシンボル・桜をめぐる物語 ～桜を大切に想う市民の願い～

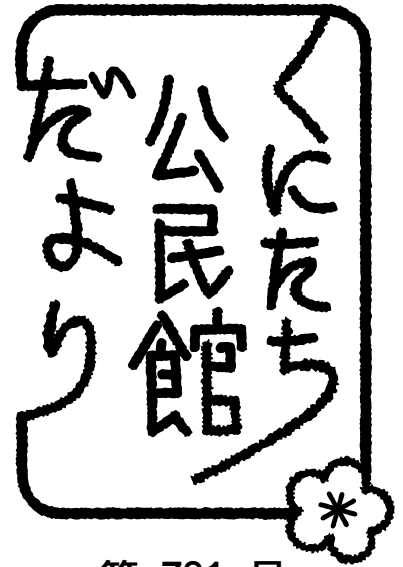
くにたちの桜の植樹の歴史や保全活動、
高校生による新しい活動に学ぶ・講座と展示のご案内



グランプリ受賞式の様子
「カマエ」と講師の大谷さん(右)



公民館裏庭の桜も少し遅れて咲きます。
3階ベランダから見える、
きれいな桜も活動の合間にぜひご覧ください。



第 781 号

2025年 3 月 5 日

(令和 7 年)

「くにたち公民館だより」
デジタルブック ▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

【くにたちのさくら 過去・現在・未来】

お 話 鈴木亜里紗、眞田しおり、松浦有紗（都立国立
高校「カマエ」）、大谷 和彦（くにたち桜守）、
清水 周（国立市公民館長）

大学通りに市民が植えた桜のこと、30年来大学通りの
桜を市内小学生と一緒に守り続けている「くにたち桜
守」の活動のこと、都立国立高校に通いながら、桜守の
応援をする「カマエ」の活動のこと。

ぜひ、一緒にくにたちの桜の話、聞いてみませんか。

と き 4月1日（火）夕4時～6時

ところ 公民館 1階市民交流ロビー

定 員 25名（申込先着順）

申込先 3月11日（火）朝9時～

電話またはホームページより申込



【ロビー展示 くにとち さくら さく】

と き 4月1日（火）～4月13日（日）

ところ 公民館 1階市民交流ロビー



高校少林寺拳法部に所属する
「カマエ」の3人。少林寺拳
法で重要な「構え」がプロジ
ェクト名の由来です。

くにたちの春をシンボリックに
彩る桜。多くの方が開花を待ち望
み、満開を喜ぶ大学通りや桜通り
の桜が、地域の人たちによって植
えられたこと、保全されてきたこ
とをご存じでしょうか。

今回は国立市の桜の歴史をたど
りながら、30年来、市内小学校と
連携して多くの子どもたちと保全
活動に尽力してきた「くにたち桜
守」の活動に学びたいと思います。

また、「くにたち桜守」の活動は、
若い世代の活動を生み出しました。
都立国立高校の2年生3人組によ
るプロジェクト「カマエ」は、地
域活性化のため、桜をイメージし
た入浴剤を制作し、2024年度
に行われた「第5回高校生模擬企

公民館裏庭に咲く2本の桜、駐
車場から仰ぎ見るのもよいですが、
写真のように3階ベランダから眺
めると、屏風絵のような見事な景
色が広がります。ぜひ公民館での
サークル活動などの傍ら、3階ベ
ランダでの「お花見」もお楽しみ
いただきたいと思います。

業グランプリ」で、見事グラン
プリを受賞しました。くにたちの桜
の植樹の歴史や保全活動のあゆみ
とともに、この「カマエ」による
新しい世代の活動報告会を行いま
す。ぜひお気軽にご参加ください。
（関連する展示をロビーで行いま
すので、あわせてご覧ください）



公民館図書室をご利用ください！



公民館図書室は、戦後国立町に公立図書館がなかった時代に青年文化サークル土曜会が自主的に立ち上げ運営していた「土曜会図書館」の蔵書、書架の寄贈を受け1956(昭和31)年に開室しました。

開室から現在まで一人でも気軽に利用できる場でありながら、公民館で行う講座や催しと連動し、本をとおして交流や学び合い、つながりが生まれる場となるよう努めています。そのため、公民館の講座のテーマや内容に関する本を優先してそろえ、市民の学びと密接に結びついていることが、公民館図書室独自の特徴です。

講演会《図書室のつどい》

毎月1回、本の著者に来ていただき本の内容やその背景などについてお話を伺います。様々なテーマの本を扱っており、60年以上続いています。



図書室のつどいの様子

連続講座《くにたちブッククラブ》

図書室利用者と職員の本についてのおしゃべりがきっかけで生まれた講座です。参加者とともに日本文学から8作品を選び、講師のお話もお伺いながら、共同で本を読み深める講座です。



HP ▶

〈図書室のつどい〉

『酔わせる映画』

～お酒と食から映画を読み解く～

お 話 つきなが 月永 理絵 (映画ライター、編集者)

映画を観ていると、言いようもなく印象的なお酒や食べ物に出会うことがあります。西部劇で登場するビール、楽しく呑み交わされる日本酒、差し出される真っ赤なりんご……。深く考えてみると何かを表しているような気がしませんか。

今回は、映画に登場するお酒と食べ物、食べ物の中でも古くから象徴的に扱われてきたりんごの表象について、西部劇や小津安二郎監督作品、世界各国の様々な映画を紹介していただきながら学びます。お話は、個人冊子『映画酒場』や雑誌『映画横丁』の発行、編集を手掛け、様々な媒体で映画評やコラムを執筆されている月永理絵さんです。数々の作品に潜むメッセージが、お酒と食を通して見えてくるはずです。

〈月永さんの本〉

『酔わせる映画 ヴァカンスの朝はシードルで始まる』(春陽堂書店)

と き 3月29日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館 地下ホール

定 員 70名(申込先着順)

申込先 3月7日(金) 朝9時～

電話またはホームページより申込



《「図書室月報」の発行》

「図書室のつどい」や「くにたちブッククラブ」の参加者の感想、講座参考図書の案内、ご自身のお気に入りの本を紹介していただく「私の本棚から」など毎月1回発行する「図書室月報」に掲載しています。



「図書室月報」はHPからもご覧いただけます▶

《市民グループの発行物、ミニコミ誌の収集》

市内で活動するグループや団体が発行しているチラシ・冊子等のミニコミ誌を収集、閲覧できるようにしています。グループ活動で発行・出版したものがありましたら、ぜひ図書室にご寄贈ください。

図書システムの入替と図書室の整理を行いました！

公民館図書室の本は、市内図書館ホームページから検索や予約をすることができます。

1月のシステム入替に伴う閉室期間中に図書整理を行い、高い位置の本を取りやすくするなど工夫しました。

図書館システム新機能▶



図書室の書架

〈図書室のつどい〉

『わたしの農継ぎ』

お 話 高橋 久美子 (作家・詩人・作詞家)

著者の高橋さんは愛媛県で生まれ育ち、現在は東京で創作活動に取り組む一方で、愛媛では仲間たちとともに地域の風景や先人の知恵、種を受け継ぐための農業を模索しています。高橋さんは、「職は別に持ち、自給自足+αを目指して活動する農家をもっといてもいいはずだ」とおっしゃいます。

今回の図書室のつどいでは、創作と農業の両立を図ろうと思った経緯、仲間とともに農業に取り組むときの悩みや実りを分かち合う喜び、天候や野生動物との格闘、二拠点生活で得られることなどをお話していただきます。高橋さんのお話を通して新しい農のかたちや、生き方の多様性について考える機会にしたいと思います。

〈高橋さんの本〉

表題作、『その農地、私が買います』(ミシマ社)、『ぐるり』、『一生のお願い』(筑摩書房)、詩画集『今夜凶暴だからわたし』(ちいさいミシマ社)、絵本『あしたがいなうさぎ』(マイクロマガジン社) ほか

と き 4月5日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館 地下ホール

定 員 70名(申込先着順)

申込先 3月12日(水) 朝9時～

電話またはホームページより申込



〈女性の生き方を考える講座〉

保育付
講座

女性のライフデザイン

人生には、様々な選択や意思決定をするときがあります。育児や介護、パートナーや家族関係、仕事や将来について悩む人も少なくありません。悩むのは「こう生きたい」という希望や目標が、様々な理由で揺れているからかもしれません。

自分はどのような人生や生活を望んでいるのか、それを実現するにはどうしたらいいのか、具体的に考えてみませんか。同じ地域に暮らす女性たちと一緒に話し合うことで、現在、そして次のステージを見つめてみましょう。

なお、大人が学んでいる間、子どもを公民館保育室で過ごす仕組みがあります。保育室は、公民館で学ぶ大人の学びを支え、保育室で過ごす子どもにとってもより豊かな生活、成長の場となることを目指して運営しています。

〈取り上げるテーマ（予定）〉

- ・公民館と大人の学習 ・子育てをめぐるジェンダー
- ・女性のライフコースを考える
- ・女性のリーダーシップをとらえなおす
- ・これからの生き方を考える—働くことと生活すること
- ・地域で活動する—社会の課題に取り組むこと

〈女性の生きかたを考える講座・公開講座〉

「選択的夫婦別姓」ってなに？

講師 寺原 真希子（弁護士）

最近ニュースなどで耳にする“選択的夫婦別姓”。そもそも、「なぜ話題に上ったり、注目されているの？」「今は選択できないの？」「法律用語や判決は難しいから……」と言う方も多いと思います。

そこで今回は、弁護士の寺原さんから、日本の夫婦同姓の歴史、今日選択的夫婦別姓が求められるようになってきた理由や社会背景、憲法や法制度からみた見解などについてお話いただきます。

個人や家族が幸せになるためには、今、何が求められているのか？ 講座を通して結婚や選択的夫婦別姓という言葉の解像度を上げてみませんか。

※ご夫婦、男性、学生の参加も大歓迎です！

※「女性の生き方を考える講座—女性のライフデザイン—」(2024年5月～9月実施)の参加者の学びの中から出てきたテーマを取り上げました。ぜひ一緒に考えましょう。

と き 4月13日（日）昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室

定 員 30名（申込先着順）

申込先 3月11日（火）朝9時～

電話またはホームページより申込



コーディネーター 堀本 麻由子（東洋大学）

ゲスト講師 池田 和嘉子（日本女性学習財団）

木山 直子（くにたち男女平等参画ステーション）

扶橋 文重（ワーカーズコープ）

大高 研道（明治大学）

東 希美子（リトマス）

と き 毎週木曜日、朝10時～12時。全11回。

5月22日～9月18日（7月17日～8月28日は夏休み）

ところ 公民館 3階集会室ほか

対 象 女性（年齢不問） 定 員 12名

申込先 3月13日（木）朝9時～

電話で公民館へ

保 育

子ども定員 10名程度（市内在住の方のみ、講座初日に概ね生後6か月～未就学児。申込先着順）。講座と同時に申込み。

保育申込締切 5月8日（木）

保育室オリエンテーション

5月15日（木）朝10時～

おやつ代275円（全11回分）

をご持参のうえ、お子さんと一緒に参加してください。



昨年度の「女性のライフデザイン講座」には、20～60代の幅広い年齢層の方が参加してくださいました。学生、子育て中（育休中）、子育てや仕事が一段落した方など様々な立場の方が全10回の講座内で語り、聞き合うことを大切にしながら学び合ってきました。参加者の感想（一部抜粋）を紹介します。

☆毎回テーマがあり、いずれも参考になりました。自分のことを見つめられる機会となり、ありがたかったです。みなさんのお話を伺うことができて、気づきがたくさんありました。

☆毎回自分の本心を表現する（絵や文で）機会ができて、心を把握、整理できたと思います。日常生活の中で、自分一人でこの作業を行うのはなかなか難しいので、本講座の存在は支えになりました。

☆毎回同じメンバーで学び続け、楽しく充実した時間を過ごすことができました。自分のこれまでの人生をふり返ったり、将来を考えたりする中で自分自身を違った角度から知ることができました。また、身近なジェンダー問題を考え、新たな気づきを得ることもできました。たくさんの方々とお話しし、関わる機会もうれしかったです。

シネボックス
(CINEVOX 公民館映画会)
『ルパン三世 カリオストロの城』
トムス・エンタテインメント 制作:1979年 カラー100分 ※DVD版

原作 モンキー・パンチ
監督 宮崎駿
声の出演 山田康雄、小林清志、
井上真樹夫、
増山江威子、
納谷悟朗、島本須美、
石田太郎 ほか



『ルパン三世シリーズ』の劇場版第2作目として1979年に公開された、巨匠・宮崎駿の映画初監督作。脚本には宮崎監督のほか『巨人の星』の山崎晴哉が参加し、TVシリーズ『ルパン三世 PART1』を踏襲しつつ、キャラクターの魅力いっぱいに痛快でロマンチックな冒険活劇を作り上げた。公開から45年を経てなお色褪せない、シリーズの中でも指折りの人気を誇る名作。

と き 3月23日(日) 昼2時～(開場昼1時30分)
ところ 公民館 地下ホール 定員 70名(申込先着順)
申込先 3月13日(木) 朝9時～
電話またはホームページより申込
*事前申し込み制となっています。必ず電話、
窓口、ホームページのいずれかの方法にて事前
にお申し込みください。



〈男性の料理入門〉
親子でランチを作って食べよう！
～イギリスの家庭料理「シェパーズパイ」～

講師 北川 みどり (管理栄養士)

普段家事をする機会が少ない男性の料理入門として、お子さんと一緒に、春休みのお昼ご飯を作ってみましょう。
今回はシェパーズパイというイギリスの家庭料理を作ります。そのほかにキャベたまスープ、コロコロサラダ、ブルーベリーヨーグルトシャーベットも作ります。



シェパーズパイは、ミートソースの上
にパイ生地ではなくマッシュポテトを重ねて焼いた、グラタンのような料理です。本来は羊肉を使用しますが、今回は牛豚の合いびき肉で作ります。

と き 3月29日(土) 朝10時～昼1時
ところ 福祉会館 3階料理講座室
定員 親子8組(お祖父さんでも可)
費用 1組(子ども1人まで)1,400円
(子ども2人まで)1,500円
(子ども3人まで)1,600円



※3月21日(金)までに公民館へお支払いください
(受付時間:月曜日以外の朝9時～夕5時)。
持ち物 エプロン、三角巾、ポリ袋(ゴミ持ち帰り用)、
ふきん2枚(台ふき用、皿ふき用)
申込先 3月13日(木)夜9時までの間に、ホームページ
より申込。応募者多数の場合抽選。
※14日(金)以降、空きがあれば電話
で申込を受付します。



公民館のQ & A

このコーナーでは、公民館についての疑問に答えます。
今回は、「市民交流ロビー」についてです。

Q 市民交流ロビーはどんなことに使える場所ですか？

A ●市民交流ロビーは休憩や自習、友人とのおしゃべりなど、個人でも自由にお使いいただける場所です。開館時間中の朝9時から夜10時まで利用可能です。
●また、市民グループの作品展示等にも使用していただけます。展示が行われる期間は、個人利用できる机や椅子の数は減りますが、互いに譲り合いながらご利用くださるようお願いいたします。

Q 作品展示での利用方法は？

A ●休館日を除く連続7日間(例:火曜日から翌週の火曜日)までお使いいただけます。備品の展示パネル・立て看板は利用団体で設営をお願いします。また、終了後は配置を現状復帰してください。
●3月には展示パネルをキャスター付きのものに買い替えます。車輪に負担がかかるため、段差を超える際には、持ち上げて運搬してください。

Q 置いてあるピアノは使用できますか？

A ●市民交流ロビーに置いてあるピアノは、現在は公民館のイベントでの使用を想定しており、一般利用はできません。

Q 市民交流ロビーで飲食はできますか？

A ●市民交流ロビーを含む、公民館内は飲食可能です。ゴミは各自でお持ち帰りください。市民交流ロビーにある「喫茶わいがや」がオープンしているときは、ロビーの机でも「喫茶わいがや」のメニューをお召し上がりいただけます。



時間帯によっては、非常に混雑する場合があります。誰もが気持ちよく利用できるようにご協力ください。

〈中央図書館50周年・公民館プレ70周年企画〉

春のナイト・ライブラリー

本をひらく、言の葉の森とつながる

図書館ナビゲーター おやま 小山 伸二 (詩人、書肆梓代表) しよ しあずさ
清水 美穂子 (ライター)

昨年9月に公民館図書室で実施しご好評をいただいた企画を、今度はくにたち中央図書館を会場に実施します。

ふだんは利用できない、閉館後の夜の図書館。参加者だけの空間となった図書館でお気に入りの1冊を探し出し、惹かれた1節やどうして選んだのかなどについて、ゆったりと語り合ひましょう。

たくさんのお本と出会い、人生を豊かにしてきた小山さんと清水さんのお二人を図書館ナビゲーターにお迎えし、本と向き合う“コト”や楽しみについてもお話いただきます。

思いがけない本との出会いを通じて、自分の世界をちょっぴり広げる言の葉の森に出かけてみませんか。

〈小山さんの本〉『コーヒーについてぼくと詩が語ること』
『さかまく髪のライオンになって』(ともに書肆梓) ほか
〈清水さんの本〉『月の本棚』(書肆梓)、『BAKERS おいしいパンの向こう側』(実業之日本社) ほか

と き 3月29日(土) 夜5時～7時
ところ くにたち中央図書館
定 員 12名(申込先着順)
申込先 3月12日(水) 朝9時30分～
くにたち中央図書館に電話、
または中央図書館窓口にて
図書館 ☎042-576-0161



図書館50周年記念の木製しおりのプレゼントがあります！

※この講座は、社会教育関連の1課3館連携事業です。

ー5月分(ロビー6月分)の会場調整会のお知らせー

申込書のポスト投入期間	3月1日(土)～3月27日(木)
予約の重なりのある団体の掲示開始日(国立市HPにも掲載)	3月29日(土) ▶重なり状況 
会場調整会	4月5日(土)朝10時～

※会場調整会当日は朝10時までに受付してください。

ひろば

(6ページにもあります)



楽しく歌おう「ひまわりの会」

指導者はピアニストで、表現豊かな演奏で参加者を曲の世界へと誘います。童謡、唱歌、日本や世界の名曲を歌います。来たい!!
日時 第2・4水曜日 朝10時
場所 北市民プラザ多目的ホール
連絡先 新里042(577) 1062

硬式テニス「若葉」会員募集

テニスは健康を保つのに適したスポーツです。水曜日はコートがやさしく指導します。金曜日はゲームを楽しめます。興味のある方は「お試し」で参加ください。
日時 毎週水曜日、金曜日
場所 矢川上公園コート
連絡先 門倉090(1792) 1929

水泳「とびうお」会員募集

春のスタートに水泳を始めてみませんか? 楽しく、健康維持の為に運動をしましょう! 公認コーチが指導いたします。皆様のご入会をお待ちしております。
日時 毎週火曜日 昼12時～2時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 横田042(571) 6688

クラシックギター会員募集

シルバークラシックギターの仲間をくにたち中央図書館に募集します。教本を参考に基礎をさらいながらクラシック曲を独奏や合奏で楽しめます。入会費会費不要。
日時 第2・4金曜日朝10時～12時
場所 東地域防災センターなど
連絡先 こみや090(4027) 6974

歌サークル「すみれの会」

童謡や歌謡曲ほか様々なジャンルの曲を楽しく歌うサークルです。声を合わせて心と体を元気にしませんか。初めての方歓迎。初回参加費無料。お気軽にご連絡を。
日時 第2金曜日朝10時～11時半
場所 南市民プラザ多目的ホール
連絡先 川端050(717) 3475

公民館運営審議会報告

2月18日(火) 第35期第4回定例会を開催。委員14名、館長、職員4名出席。傍聴人5名。
前回事務録確認
議事録修正あり。

報告事項

公民館だより編集研究委員会、社会教育委員の会、東京都公民館連絡協議会、社会教育学習会担当委員より報告。

2月8日(土) 開催された第61回東京都公民館研究大会と、2月14日(金) 開催の社会教育学習会へ参加した公運審委員からの感想等の共有。

矢野委員長より平成13(2000)

1) 年度国立市公民館処務規則の全部改正の内容についての説明。
審議事項
3月の公運審定例会の日程変更を確認。

来期の社会教育委員の公運審からの推薦候補を審議。第26期社会教育委員は、荒井委員に決定。現在の公民館事業について、職員3名からそれぞれ集会所等施設提供事業・市民文化祭・性教育講座についての報告。その後、公運審委員からの質問と意見交換。次回公民館事業について継続して審議。

次回3月25日(火) 夜7時15分から3階講座室。傍聴歓迎。

(北村)

今月の公民館 (3月～4月)

- 3月9日(日)朝 親子で遊ぼう・考えよう
「部屋いっぱい風船で遊ぼう！」
- 15日(土)昼 講座 詩の世界「いま、戦後詩をみつめる
～『黒い詩歌』が映し出すもの～」
- 23日(日)朝 教育講座
「子どものゲーム依存 親子でどう向き合う？」
- 23日(日)昼 シネボックス CINEVOX 『ルパン三世 カリオストロの城』
- 29日(土)朝 男性の料理入門「親子でランチを作って食べよう！
～イギリスの家庭料理『シェパースパイ』～」
- 29日(土)昼 図書室のつどい『酔わせる映画 ～お酒と食から映画を読み解く～』
- 4月1日(火)夕 「くにたちのさくら 過去・現在・未来」
- 5日(土)昼 図書室のつどい『わたしの農継ぎ』
- 13日(日)昼 女性の生きかたを考える講座・公開講座
「『選択的夫婦別姓』ってなに？」

講座の開催状況などに変更があった場合は、公民館入り口付近への掲示や、ホームページでお知らせします。ご不明の点はお問合せください。

公民館 ☎042(572) 5141



▲講座等の案内

ひろば



“ホバリング”でバランスを取り、さくらを啄むメジロ君！
(谷保駅北側)

撮影 和賀 一

(フォトサークルくにたち)

数学を楽しむ集い

数学の不思議を解き明かします。身近な話題からパズル、図形など色々な話題を紹介します。気軽に挑戦してください。原則として、第2、第4土曜日開催。お電話を！

日時 3月8日(土)22日(土)昼1時～

場所 公民館 集会室等

連絡先 山本042(572) 1028

マトリョーシカの会コンサート

春の歌を全員で日本語とロシア語で歌います。カナ付きの楽譜がありますので、初めての方でも歌えます。資料代500円

日時 3月16日(日)昼3時～4時半

場所 公民館 地下ホール

連絡先 大貫042(572) 5214

くにたち写真会 写真展

当会は近隣の写真愛好家が集まったサークルです。会員がこの1年で撮った風景、花、スナップなどの作品約40点を披露いたします。新会員も募集しています。

日時 3月25日(火)～30日(日)

場所 公民館 1階市民交流ロビー

連絡先 榎戸090(775) 5124

「ひろば」写真募集



国立市内の風景や行事などの写真を募集しています。ご協力いただける方は公民館までご連絡ください。

「サークル訪問 401」

「二橋大学珈琲同好会」

最近の若い人はコーヒーが得意ではないと聞く。どうもあの独特の苦味が不得手のようだ。そんな風潮に逆らうかのように、熱い「コーヒー愛」を持っているのが、「二橋大学珈琲同好会」だ。

2020年に同好会を立ち上げたものの、すぐにコロナ禍で授業はオンラインとなり、登校もままならず、飲食系サークルは活動禁止となった。収束を経て対面授業も復活、やっと思うように活動できるようになった。

ふだんは月に2回のペースで、コーヒーの産地を調べたり、淹れ方を実践したりしている。また、月に1回、都内のカフェを巡り、コーヒーを味わい、写真に撮ったりもする。コーヒーに関するあらゆることをやってみよう、というのがこの同好会の特徴だ。活動をインスタグラムやX(旧ツイッター)で積極的に発信している。それを見たり、口コミで、一橋大だけでなく、他大学からも参加希望者がやって来る。現在、メンバーは43人が登録、日頃主に動いているのは学生・院生10数人だ。

公民館の実習室が活動拠点だ。流し台や調理器具が揃っているの

で、コーヒーを淹れるには最適だ。



コーヒー愛を語ってくれたメンバー
(中央が代表の大浦暖人さん)

〈文・写真 公民館だより編集研究委員 中井 一人〉

連絡先 大浦 hucoffee@gmail.com

日時 月2回 午後4時から8時(この他に月1回の都内カフェ巡り)

場所 公民館 実習室

大学内には調理室がないが、公民館という充実した公共施設を見つけ、存分に活用している。取材した日は、「コーヒーおしるこを作ろう!!!」と、何とも楽しそうなテーマが黒板にあった。

昨年11月、「二橋祭」に出展したスノートップとモカの2種類のコーヒーと焼き菓子を販売した。多くの人を集め、大盛況で、自信を得た。国立市は喫茶店もコーヒー豆を扱う店も多く、理想的な環境だ。今後の目標は、市内で催されるお祭りに出展すること。苦味を感じさせない、明るく、前向きでスイートな同好会だ。